

# かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)

電話 66-1311  
FAX 66-1314



## 福岩分教会

大正14年1月27日 御鎮座奉告祭

陽気ぐらしを目指して、たすけの輪を広げよう

今一手一つに、一步一步!

- \*初席者一名以上
- \*百万件のにをいがけ

創立百三十周年記念祭並六代会長就任奉告祭

立教184年(2021年)10月24日 執行

立教182年  
4月号



来日中の外国人にパンフレットを手渡す

**広島平和記念公園  
にをいがけ実施**

**海外部**

まだ肌寒い3月18日、4人の部員と学生で広島に向かいました。到着した10時過ぎはまだ歩いている人たちも少なく感じつつおちばに向かつてよろづよ八首のお願いづとめをさせていた。その後2グループに分かれて約1時間をいがけに歩きました。時を追うごとに多くの外国人が公園を訪れ

てきて、今年は1人ひとりにゆつくりと会話をすすめ、教理の話、おちば帰りを勧めた。出会った人達はドイツ、アメリカ、オランダ、コスタリカ、カナダ、ポーランド、ベルギー、イタリア、チュニジア、オーストラリア、イギリス、中国など18グループとの出会いを頂いた。

今現在140万人の外国人が日本で雇用を受けており、来年のオリンピックまでにさらに48万人の雇用が増えると外務省が発表した。それに観光客を増すとまさに外国人だらけの日本の様子が目に浮かぶ。十二下りの三ツ、みなせかいからだんく〜と きたるだいくにほいかけ。みな世界中からだんだんとこの屋敷にやってきた大工達に世界のふしん、不思議な普請の構想について話を聞かせるようにとの思いがこめられている。海外布教によく引用されるお歌だが、日本に居ながら来日する外国人にしっかりとにをいをかけていく。その人達がそれぞれの国にパンフレットや教えを持ち帰っておやさまがお働きくださる世界が広がっていく。こんな事を夢見ながら今回も1枚のパンフレットに心を込めて配布した。

(海外部長 上原志郎)

**よふぼく勉強会開催  
テーマは「お道の通り方」**

3月月次祭後

**育成部**



お道の通り方を話される山田先生

育成掛(中島誠治主任)は3月21日、祭典終了後、午後1時30分から会議室でよふぼく勉強会を開催、20人が参加した。講師は山田敏教先生(甲井分教会前会長)。テーマは「お道の通り方」。先生は冒頭、自己紹介に続き自教会の成り立ちを話され、今の教会の有り方、教会長の通り方などについて話しを進められた。先生自身、現在、教区・支部などの役職を退かれ読書の時間が

多くなり、読まれた本の中から活気ある教会の日常、月次祭の風景を知り、自身にもできる事から実行してゆきたいと話された。その後、初代また先代への感謝の思いとともに遺徳を称える事が大切であると強調され、最後に成ってくる事や今の環境を喜んで通る事ができ又、心の切り替えをさせて下さるお道のすばらしさを伝えて話しを締めくくられた。

**春の学生おちばがえり・**

**直属アワー 開催**

**学担**

3月28日、春の学生おちばがえりが開催され、笠岡に繋がる学生26人が、各教区より参加した。

午前中、本部中庭で行われた式典では、中田善亮表統領の挨拶、学生の決意表明、感話などがあった。

午後からの直属アワーでは、まず大教会長様が、当たり前前に感謝する事の大切について、経験談を交えながら話された。続いて開催されたのは、「クッキングコンテスト」。学生らは、班対抗でカレーとサラダ作りを、買い出しから行った。最後には、様々な味の



買い出しから始まった班対抗のカレー作り

カレーが出来上がり、会場は多いに盛り上がった。  
 学生らは、春の学生おちばがえりを通して、自分の信仰を見つめるきっかけをつかみ、教区、直属同士の絆を深めた。



直属同士の絆を深めた「直属アワー」



「当たり前」の有難さを話される大教会長様



同じ釜の飯を食べるのが合宿の醍醐味

笠岡むつみ鼓笛隊は、3月30日から4月1日の朝にかけて毎年恒例の春の鼓笛合同合宿を大教会に於いて開催しました。人数は年々減少して少し寂しさを感じますが、参加してくださいました隊員、係員のみなさんは本当に仲睦まじく、合宿期間を過ごしました。  
 お楽しみ行事として室内オリンピックに汗を流し、夜の挨拶ではおやさま

**「春の鼓笛合宿」行う**

3・30〜4・1 大教会で

**笠岡むつみ鼓笛隊**



大勢でのパート練習が出来るのも大教会ならではの

のお話を取り入れ、そして真剣に練習に取り組んだ合宿でした。  
 昭和29年に発足して65年の歴史を数える笠岡むつみ鼓笛隊は、その活動を通して多くの道の子達に教えを伝える木に育つ一助を担ってきました。これからもおつとめのできる用木が育つ事を願って活動してまいりますので、全隊からの参加を願っています。各教会でのお声掛けをよろしく願います。  
 (隊長 森本忠善)

おつとめまなび総会開催

4・1 大教会

少年会

少年会笠岡団(武内正美団長)は、4月1日、大教会で「おつとめまなび総会」を開催しました。

参加者は、少年会員256人、育成会員197人、総数453人(受付数)でした。

今年は、時折激しい風が吹き、寒さ厳しい中開催されましたが、500人近い参加者の御守護を頂いて、賑やかに勤めさせて頂きました。模擬店も、東ブロック(スイーツ)、西ブロック(カレー)、福山ブロック(ホットドッグ)、高屋ブロック(フライドポテトとアイス)、島根ブロック(コーンスープとジュース)、上下ブロック(チキンナゲット)、府中市ブロック(射的)、久松ブロック(スーパースポーツ)とボリウム満点で、大人も子供も大満足のメニューとなりました。また、ステージでは、○、×クイズに、抽選会と大変な盛り上がりでした。年に一度のこの総会は、個々の教会で子供におつとめを教え共々に練習し、大教会でつとめさせて頂く大変意義深い行事であります。毎年開催させて頂くことに、大教会長様も大変お喜びになっておられます。将来の個々の教会において、重要なよふぼく育成の場となっているこの総会、皆様と共にさらに内容のあるものになる様、ご助言を頂いて努めてまいりたいと思いますので、今後とも宜しくお願い致します。

(少年会委員 中村剛史)



厳かに陽気に始まり、賑やかに楽しく幕を閉じた

### 第3回 アフリカ孤児 支援バザー開催

4・7 大教会で

海外部



会場に訪れる人たち

海外部(上原志郎部長)は、4月7日、大教会で、第3回アフリカ支援バザー「桜祭り」を開催しました。当日は好天に恵まれ桜の花も八分咲きで、この行事に文字通り花を添えてくれました。大教会の桜並木の坂道を徒歩にて来場する近隣の方々の姿が多く見られ、最終的にスタッフを合わせ



吹奏楽団の演奏を聞き入る来場者

て5百名に届く来場者数となりました。ステージが始まる頃には会場に用意した椅子席はほぼ満席となり、井原吹奏楽団メルヘンウィンドアンサンブルの演奏を皮切りに華々しく開演しました。続いて雅鶯会による雅楽演奏、有志による和太鼓、ダンス、そしてプロのマジシャン「and u」のマジックショーが披露されました。ステージの間には2回の抽選会も催されました。模擬店コーナーでは、今回、福山市南蔵王町にあるステーキ店「ボトムス



賑やかだったバザー会場

「ステーキ」の店長・広田氏(稲倉分よふぼく)が特別出店して下さり、ステーキ専門店の料理に皆、舌鼓を打ちました。また昨年同様の、焼き鳥・唐揚げ・ポテト・焼きそば・うどん・カレーライス・スライツ・クレープに加えて、今回は巻き寿司・大判焼き等の出店もあり、大いに賑わいました。会場内には、家具・家電・衣類・骨董品・日用品・馬油クリーム・苗木・野菜等の品々が所狭しと並び、目当てのものを見つけ両手に沢山の購入品を携えて場内を後にする様子も多く見受けられ

ました。また、子ども風呂敷市には、子どもたちが思い思いの品々を持参して販売し、立ち寄る人々も多く盛況でした。

今年は晴天とほぼ満開の桜の花に後押しされたこともあり、予想以上に大勢の方々にお越しいただきました。また今回で3回目の開催となり、「桜祭り」が次第に周囲に認知されつつあることも大きな要因ではないかと思えます。

この度の総売上高は30万円を大きく超え、純利益が20万円を超える見込みです。これらの売上金は、孤児支援のための衣類やトラクターを、アフリカに輸送するための費用と孤児院への寄付金とさせていただきます。

各部会の枠を超えて大勢の方々がスタッフとして本支援バザーにお力添え下さり、年を追うごとに充実した行事に成長しています。皆様のお心寄せがアフリカの孤児支援に直接結びついていることを嬉しく思います。紙面上ではありますが笠岡大教会の一海外部員として、皆様方のご理解とご協力に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

(海外部員 佐藤真孝)

## 三月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいませ

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様には子供かわいいの親心のままに 身体をお貸し下され天然自然のお働きを通して常に陽気ぐらしが出来るようにと御守護下さっております事は誠に有難い極みでございます 特に今は寒さも少しは和らぎ鶯も鳴き始めるなど春の到来を感じる季節をお与え頂き結構に暮らさせて頂いておりますが 残念なことにその結構さが分ならず又世界一列兄弟であることが分ならず 共に苦しめ合っております事は誠に申し訳なく 少しでも陽気ぐらしに近づきたいと 私共は日々朝夕に御礼申し上げると共に ご恩報じを念じてたすけ一条のご用の上に努め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日は これの教会の三月の御祭り日でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 喜び感謝とたすけ心も一入に明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめさせて頂きます 今日の日を楽しみに御前に寄り集いました道の子供達が 日頃のご高恩に改めて御礼申し上げます より一層世の中のたすけを願う真実の状をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいませようお願い申し上げます

さて今年初めより三ヶ月に亘って直轄教会・部内教会へと巡教をさせて頂き 記念祭・奉告祭に向け三年千日と仕切つての成人の歩みの徹底を図らせて頂きました 一手一つに陽気ぐらしへの希望を持って力強く歩みを進めて行く覚悟でございます 又年度替わりに当たり特に若い人の多くが期待と不安を胸に抱いています 不安を取り除く為にもしつかりと声掛けをしたいと思えます そしてその一助として春の学生おぢばがえり・鼓笛講習会・おつとめまなび総会への参加呼びかけをしていく所存でございます 更にはアフリカ支援バザーとして桜祭りを開催 お道以外の人にも声を掛け たすけの輪を広げる一助としたい所存でございます

何卒親神様には たすけの輪を広げるべく自らのたすけ心を磨き一途に邁進する皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上により一層の御守護を賜り 我が身助かりたいの心から人助けたいの心に切り替わる人が増えまして 万互いが欲を忘れて助け合う陽気ぐらしの世の状へと一日も早く立て替わりますようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

## 修養科生の声



### 修養科を終えて

富士分教会 藤井 成人

この修養科で本当にいろいろな事を見せて頂きましたが、その中でも特に「たんのう」について学ばせて頂きました。

私のクラスに車いすで奥さんと来られている方がおられました。その方は肺気腫があり、医者に行ったところ肺がんと診断され、夫婦で頑張ろうとしていたところ、脳梗塞で倒れ下半身不随という大きな身上を頂かれました。そこで修養科に入らせてもらおう事を決められ、退院したその足で修養科に来られました。大きな身上にも関わらずいつもニコニコとしておられ、周りにも「ありがとう」と常に言っておられました。私達も何かさせて貰いたいと思ひ、皆でお願いづとめ・おさづけをさせて頂きました。ある日の朝礼で読んだおふでさきの中に「せかいぢうたがいにたすけするならば 月日も心み

## 春季 霊祭祭文

これの笠岡大教会の祖霊殿にお鎮まり下さいます本席様の神霊 初代真柱様並びに奥様の神霊 二代真柱様の神霊 大教会創設の祖上原佐吉大人八重刀自の神霊 初代会長上原さと刀自の神霊 二代会長上原伊助大人光刀自の神霊 三代会長上原繁雄大人くに多刀自の神霊 四代会長上原郁雄大人朝子刀自せい子刀自の神霊 歴代会長と共にたすけ一条の艱難苦勞の道を歩んで下さった役員 部内教会長 教人 よふぼく信者の神霊 又新たにお鎮まり下さいました福田勝大人 藤本五郎大人 森川弘志大人 下田輝夫大人 村川和司大人 田中幹夫大人 江黄招妹刀自の神霊 諸々の神霊の前に 会長 上原理一慎んで申し上げます

祖霊様方には親神様のお見定めと時句を得て教祖のお引き寄せを頂かれこの道の人となられました 以来いんねん納消の上からご恩報じを念じてたすけ一条に邁進されました 道のないところから始まった笠岡の道もやがて細道になり そして現在の立派な道になりましたのも そうした祖霊様方がたすけ一条の上に伏せ込み理作りに励んで下さった真実を親神様・教祖にお受け取り頂いた賜と 日々は朝夕に御礼申し上げつつたすけ一条のご用の上に努め励まして頂いております

その中に本日は春の霊祭を勤める日柄に当たり 只今は親神様の御前にてをどりをつとめさせて頂きましたので 引き続き祖霊様の御前に馳せ参じさせて頂き 海山川野の多芽津物を供えて 事改めて生前のお姿を偲び御遺徳を称える皆の真実の状をご覧下さいまして 祖霊様方にも御心お安め下さいますようお願い申し上げます

さて立教百八十四年十月二十四日 大教会創立百三十周年記念祭並びに六代会長就任奉告祭を執り行う事になり年頭より直轄・部内教会に巡教をさせて頂き 「陽気ぐらしを目指してたすけの輪を広げよう」のスローガンと「一教会初席者一名以上と百万件のにいがけ」の活動目標の徹底をさせて頂きました 歩み出しはゆっくりでも皆一手一つに 一歩一歩確実に歩を進めて行つて 親神様教祖はもちろん祖霊様方にもお喜び頂ける記念祭になるよう努め切らせて頂く所存でございます

何卒祖霊様方には 親孝心一筋に親を慕うて足跡を辿る皆の誠真実の姿をご覧下さいまして たすけ一条の道がより大きく伸び広がり 祖霊様方が求めておられた陽気ぐらしの世の状が 一日も早く実現しますようお願いしお力添えの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

なひきうける(13号38)」と書かれており、それからはクラスの人たち皆でおさづけの取り次ぎ合いをする様になりました。すると、その方の左手がだんだんと動くようになり、3カ月目には車いすを降りて少しですが歩けるようになるという有り難い御守護を見せて頂きました。身上を喜ぶという事はそう簡単にできる事ではないと思いません。しかし、その方は身上ですら「ありがたい」と言つて通られた心を神様はお受け取り下さったのだと確信しております。

その他にもクラスでのお願いづとめ、おさづけに籠った私達の思いも受け取つて下さった事は、私のこれからの信仰が大きく動いた気がします。私はこれから専修科の方に入らせて頂く事になりました。修養科で見せて頂いた事を糧に、何事も「ありがたい」の心で通らせて頂きたいと思えます。







## 第13回大教会長杯親睦大スポーツ大会開催

大教会長様から「笠岡内でブロックを越えた親睦を深める会を開いて貰いたい」という思いで始まったこの大会も、今年で第13回目を迎えます。今年は**5月1日(水)**に行います。今年も、多くの方々が参加出来るよう、1チームに**会長さん、50歳以上の方、女性の方、少年会員**も必ず入るようになっています。全ブロック参加、全会参加を目指しています。スポーツに自信が有る無しに関わらず、一人でも多くご参加下さい。尚参加お供えは中学生以上1人500円となっています。当日は**おいしいカレー**が用意されています。

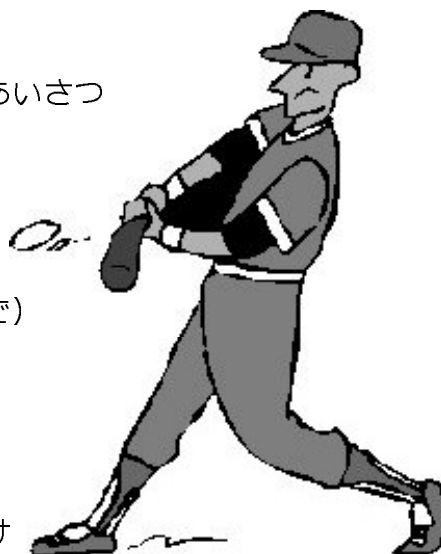
### 大会スケジュール

**8:30**までに**茂平グラウンド**に集合

【雨天で**ソフトバレーボール**の場合は陶山小学校体育館を用意しています。  
詳細は各ブロック担当者にお尋ねください。】

**開会式** 遥 拝  
大教会長様あいさつ  
競技説明  
選手宣誓  
準備体操

**9:15** **プレイボール**  
11:00より **昼 食** (13:00まで)  
15:30 **閉会式** 成績発表  
表彰式  
挨拶  
遥 拝  
解散、片付け



### 詳細は

東	ブロック	-	大教会神事所
西	ブロック	-	浅野明教さん(ひろさと)
福山	ブロック	-	福島大介さん(福満)
高屋	ブロック	-	武内清和さん(香地華)
島根	ブロック	-	三代幸徳さん(米府)
久松	ブロック	-	中村剛史さん(久松)
上下	ブロック	-	高田一弘さん(眞府)
府中市	ブロック	-	豊田宏哉さん(府中市)

までお尋ね下さい。



← 茂平グラウンドの場所は、左のQRコードにアクセスし、ネットで検索してください。

運営委員会

# 大教会だより

## Ⅱ 教会指令 Ⅱ

### ◎ 任命願

大江橋 分教会

\*前任 村川 和司

\*新任 村川 久美子



村川久美子さん

### ☆ 奉告祭

立教182年5月19日

立教182年3月26日承認

### ◎ 第九三三期修養科

自 立教182年1月4日

至 立教182年3月27日

\* 教 養 掛 (主) 門 脇 元 教

一ヶ月目 (主) 門 脇 元 教

(大教会役員)

高根分教会(長)

北川 治 史

(稲倉分教会(長))

二ヶ月目 (主) 今 川 昌 彦

(大教会役員)

金浦分教会(長)

(主) 西 村 彦 一

(瑞雲分教会前会長)

三ヶ月目 (主) 岡 崎 治 喜

(弥高山分教会(長))

(主) 吉 岡 貞 彦

(菅田川分教会(長))

### \* 修了者

福富士 藤 井 成 人

### ◎ 学生合宿受け入れひのきしん

自 立教182年3月27日

至 立教182年3月30日

・ 東ブロック 直 轄 徳 山 毅

・ 西ブロック 久 松 中 村 剛

・ 福山ブロック 福 廣 佐 々 木 進

・ 高屋ブロック 稲 倉 大 月 道 昭

・ 島根ブロック 照 雲 雑 賀 元 生

・ 上府ブロック 上 下 押 尾 功 司

### ※ お詫びと訂正

本年3月21日発行の『かさおか 第58巻 第3号』5ページに掲載の婦人会笠岡支部総会の告知記事の中で、開催日時が「立教182年6月23日(日)午前10時30分」となっておりましたが、「同日午前10時」の誤りでした。読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させて頂きます。



## 天理教婦人会

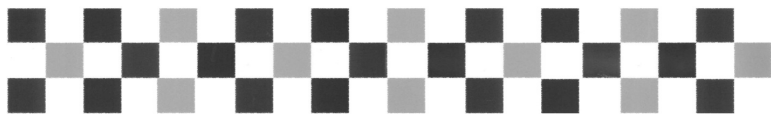
### 婦人会長様御臨席



第24回

# 笠岡支部総会

立教182年6月23日(日) 午前10時



### 藤本静子姉

引野分教会前会長夫人  
3月26日出直されました。  
享年 93才



私は巨人ファンである。と断言する。誰が茶々入れようとくじけない心。しかし私の信念も崩れだした。それは生え抜きの長野と内海を放出したことだ。何てことをするんだ！頼みます。巨人の大功労者じゃあないか！生え抜きの巨人ファンをなんと思えるのか！えーい、ペナントレースも負けてしまえ。その時に二人が居てくれたらと思うやろう。私は宣言する。「もう巨人ファンは止めたぞ！」……かといって他のチームを応援する気にもなれない。唯、野球ファンを止めるだけだ。月日が経てば、巨人の丸になるだけ。また長野も広島に溶け込んで島の長野になるだろう。その時に私は再び巨人ファンに戻ってこういう「アイシャールリターン！」「真の巨人ファンを知れ！」しかし、その日はいつくるのやろ？ (ひ)

# 計 報